講演会「言語研究の諸問題：東アジアの言語の事例から」発表資料
2017 年 2 月 24 日（金）於新潟大学 総合教育研究棟 学際交流室

本当におもしろいんだから！：朝鮮語における従属節の主節化*

黒島規史（東京外国語大学大学院／日本学術振興会特別研究員）
norifumi.964ma@gmail.com

1　はじめに

現代朝鮮語（以下，朝鮮語）では，連用節が主節（上位節）を伴わず，主節として用いられることがある (1)[1].

(1)　sukheycyul　hana ceytaylo　kwanli mos ha-myense!
スケジュール 一つ きちんと 管理　IMPS する-ADVC.SIM
스케쥴 하나 제대로 관리 못 하면서!
「スケジュールの一つも満足に管理できないくせに！」[heyllo! aykissi 6]

本発表ではこのような従属節の主節化 (insubordination) について扱う．朝鮮語にはどのようなタイプの従属節の主節化があり，またそれらはどのような意味を表すのであろうか？

本発表では連用節と連体節の主節化を中心に考察する．連用節の主節化については黒島 (2014), 黒島 (submitted) に基づいて紹介する．さらに，本発表では連用節の主節化の研究で明らかになったことを発展させ，連体節の主節化についても論じる．黒島 (2014), 黒島 (submitted) では連用節の主節化において，節が文らしさに欠けると話者の感情を発露させるような表出モダリティを表す一方，節が文らしくなればなるほど対事態モダリティや対聞き手モダリティまでをも表しうることを述べた．この提案は，連体節の主節化においても適用できるということを示す．

2　従属節の主節化 (insubordination)

Evans (2007) は様々な言語で本来従属節であったものが主節として用いられる現象に注目し，これを ‘insubordination’ と呼んでいる．Evans (2007: 367) は insubordination を「形式的には一見明白な基準で従属節のように見えるものの慣習化された主節用法」[2]と定義する．本研究では Evans (2007) の insubordination の定義に従う．Evans (2007: 380) では insubordination の例として，英語の次のような例を挙げている．この例 (2) では本来従属節である ‘if’ が主節化して用いられており，Evans (2007: 380) によれば丁寧な依頼を表しているという．日本語訳は引用者による．

(2)　a.　(I wonder) If you could give me a couple of 39c stamps please

* 本研究の一部は JSPS 科研費 JP16J07745 の助成を受けたものである．

[1] 用例は，2007 年に公開された “21seyki seycongkyeyhoyk choycong sengkwamwul” malmwungchi [「21 世紀世宗計画最終成果物」コーパス] のジャンルのうちシナリオ，ドラマ脚本，放送局（台本）と，KBS 公式サイトにて公開されているドラマ台本 9 作品，Pangsongtayponyellam [放送台本閲覧] にて台本を公開しているドラマ台本 1 作品から収集した．ドラマ作品名は末尾に示す．用例を引用する際，コーパスからの引用であればファイル番号を，その他のドラマ台本の場合，ドラマ作品名と話数をアラビア数字で表記する．

[2] 日本語訳は日本語訳は堀江・プラシャント (2009:126) を引用する．

b. If you could give me a couple of 39c stamps please, (I'd be most grateful)

「いくつか 39 セントの切手をくださいませんか」(Evans 2007: 380)

また，Ohori (1995) は日本語についての研究であるが，はやくから同様の構文を取り上げ，これを 'suspended clause'（中断節）と呼んでいる．白川 (2009) では，主節を伴わずに従属節のみで現れる文を「言いさし文」としている．さらに白川 (2009: 11) は「言いさし文」を 3 種類のタイプ「関係づけ」「言い尽くし」「言い残し」に大別し，前者二つを狭義の「言いさし文」と定義する．

3　朝鮮語の従属節の主節化に関する先行研究

これまでの朝鮮語における，特に連用節の主節化に関する研究としては，文法化 (grammaticalization) という観点からの研究 (Kim 2000, Koo & Rhee 2000, Rhee 2002)，従属節の主節化に関して，その原理や，意味について論じた研究 (Cen 2002)，(間) 主観化 ((inter)subjectification)) という観点からの研究 (Sohn 2003, Rhee 2011) などがあった他，個別の接続形に関する研究の中で従属節の主節化用法が言及されることがあった．風間 (2009) ではいわゆるアルタイ型言語との対照という観点から朝鮮語も言及されている．

また連体節については文字テロップを分析した呉・堀江・金 (2015) や呉 (2015) があり，特に引用連体節については金 (2014) の研究がある．

このように，朝鮮語の従属節の主節化に関する研究は様々な観点から行われてきており，文法化等の観点からの研究も重要ではあるが，まず従属節の主節化を形態的な面から分析し，体系的に整理することが必要だと考えられる．また，従属節の主節化における意味の考察はなされてきたものの，そのモダリティ的側面に注目する研究はなかったと言える．

よって，従属節の主節化を形態的に分類したうえで，朝鮮語における従属節の主節化を体系的に捉えて各々の関係を示し，それらが表すモダリティ的意味を明らかにすることが必要である．本研究ではこの問題を従属節の主節化における節の構造と文らしさという観点を中心に考察していく．

4　朝鮮語における連用節の主節化

朝鮮語はかなりの数の連用形語尾が存在し，それらのうち主節化して用いられるものも多いが，ここでは便宜上二つの連用節 -(u)myense「〜ナガラ」 と -(u)nikka「〜カラ」のみを扱う．この二つは主節化においていくつかの意味を表し，かつ引用連用節になることで特殊な意味を表すようになり，朝鮮語における連用節の主節化を概観するのに適しているためである．ここからはこの二つの連用節を形態的な特徴，具体的には過去接辞を持ちうるか，引用節を成すか，丁寧さを表す =yo が付くかによって分類し，その分類をもとに，節の形態的特徴と，主節化におけるモダリティ的意味との関連について論じる．

4.1　形態的特徴から見た連用形の主節化

-(u)myense は連用節として主に，二つの事態が同時に起こる「〜ナガラ」(3) という意味と，逆接的な「〜クセニ」(4) という意味を表す．

(3)　na=nun phasutha=lul phokhu=lo　toltol　mal-myense　malhay-ss-ta.
1=TOP　パスタ=ACC　フォーク=INST ぐるぐる 巻く-ADVC.SIM 言う-PST-DECL
나는 파스타를 포크로 돌돌 말면서 말했다.

「私はパスタをフォークで巻きながら言った.」(黒島 2010: 24)

(4) appa=lang heyecy-ess-umyense mwe#ha-le na=hanthey cakkwu=man o-nun
お父さん=COM 別れる-PST-ADVC.SIM 何#する-ADVC.PURP 1=DAT しきりに=だけ 来る-ADNC.NPST
ke-cyo?
こと-ASS.POL
아빠랑 헤어졌으면서 뭐하러 나한테 자꾸만 오는 거죠?
「パパと別れたくせに，僕のところにちょくちょく来るのはなぜだろう？」 (黒島 2010: 24)

-(u)myense が主節として用いられるときは，(4) のように「〜クセニ」という意味で用いられることがほとんどである．このような意味を表す条件はいくつかあるが，このとき過去接辞を挿入することができる (5)．一方「〜ナガラ」の意味を表すときはテンス接辞は挿入できない．

(5) senwu: hayntuphon+penho com allye#cwu-llay=yo?
ソヌ [人名] 携帯電話 + 番号 ちょっと 知らせる#あげる-VOL=POL

ye: way ile-sey=yo.
女 なんで こうする-HON:INTTR=POL

ayin iss-nun#ke pwa-ss-umyense.
恋人 いる-ADNC.NPST#こと 見る-PST-ADVC.SIM

선우: 핸드폰번호 좀 알려줄래요?
여: 왜 이러세요. 애인 있는거 봤으면서.
「ソヌ：ちょっと携帯の番号教えてくれませんか？」
「女：なに言うんですか．恋人いるの見たくせに！」[paykselkongcwu 1]

また，このとき丁寧さを表す =yo を -(u)myense のあとに付けると不自然になる．
-(u)nikka は連用節として日本語の「〜カラ」のように理由を表す (6).

(6) kalwuyak=un mek-ki himtu-nikka alyak=ulo cwu-sey=yo.
粉薬=TOP 食べる-NMLZ 大変だ-ADVC.CSL 錠剤=INST あげる-HON:IMPR=POL
가루약은 먹기 힘드니까 알약으로 주세요.
「粉薬は飲みにくいですから錠剤を下さい.」(李姫子・李鍾禧 2010: 262)

-(u)myense と異なり-(u)nikka は過去接辞を自由に挿入することができ，過去接辞があることによって -(u)nikka が表す意味に変化はない (7)．下の (7) の会話は，記者のインタビューに対し，チウンが自分の父が家を設計したと話した直後の場面である．

(7) kangkica: kulay=yo? kule-m yeki=se=n kyelhonha-ki cen=pwuthe
カン記者 そうだ:INTRR=POL そうだ-ADVC.COND ここ=LOC=TOP 結婚する-NMLZ 前=から
sa-si-n ke-eyyo?
住む-HON-ADNC.PST こと-COP.INTRR:HON

ciun: ney, ceyka kiek=ha-ki cen=pwuthe yeki sal-ass-unikka=yo...
チウン [人名] はい 1:NOM 記憶=する-NMLZ 前=から ここ 住む-PST-ADVC.CSL=POL

강기자: 그래요? 그럼 여기선 결혼하기 전부터 사신 거에요?
지은: 네, 제가 기억하기 전부터 여기 살았으니까요...

「カン記者：そうですか？ じゃあここには結婚する前からお住みだったんですか？」
「チウン：はい，わたしが覚えているより前からここに住んでいますから...」[phwulhawusu 8]

この (7) の例では連用節のときと同様に -(u)nikka は理由の意味を表している．さらに，-(u)myense が主節として用いられるときには不自然だった丁寧さを表す =yo が付加されている．

-(u)nikka は主節として用いられる際に，このように過去接辞を持つこともできれば，丁寧の =yo を付けることもできるが，どちらとの結合もできない例もある．それは po-ca po-ca ha-nikka (見る-ADVC.SEQ 見る-ADVC.SEQ する-ADVC.CSL) と tut-ca tut-ca ha-nikka (聞く-ADVC.SEQ 聞く-ADVC.SEQ する-ADVC.CSL) が主節として現れる場合の例である．これらは連用節としてはそれぞれ「黙って見ていれば」「黙って聞いていれば」という意味を表し，韓国・国立国語院 (2012: 963) では「ある状況を耐えようとしても，あまりに行き過ぎていて，耐えられないことを表す」と説明している．前者の例を挙げておく (8).

(8) po-ca po-ca ha-nikka caney nemwuha-ney.
見る-ADVC.SEQ 見る-ADVC.SEQ する-ADVC.CSL 2 ひどい-ADM
보자 보자 하니까 자네 너무하네.
「黙って見てたら，君，やり過ぎだよ.」(韓国・国立国語院 2012: 963)

これが主節として用いられたのが (9) である．このときは丁寧さを表す =yo は付かない．ただし，このような用法は慣用的なものである．

(9) i yeca=ka po-ca_po-ca ha-nikka!
この 女=NOM 見る-ADVC.SEQ_見る-ADVC.SEQ する-ADVC.CSL
이 여자가 보자보자 하니까!
「この女が黙っていれば（いい気になりやがって）！」[sikhulis katun 20]

二つの連用節 -(u)myense と -(u)nikka はまた，終止形に直接付くことで，引用連用節を成すことができる．引用連用節が主節として用いられる場合を考察する前に，まずは朝鮮語の引用構造について簡単に説明しておこう．朝鮮語においては -ta（叙述形），-nya（疑問形）, -ca（勧誘形）, -la（命令形）という終止形に連用形語尾が直接付き，引用節を成すことができる．ここでは日本語の「〜ト」のように通常の引用節を作る -ko の例を挙げたが，他の -(u)myense と -(u)nikka などの語尾が付く場合も同様である．

(10) cip=ey {ka-nta / ka-nya / ka-ca / ka-la}-ko hay-ss-ta.
家=DAT 行く-DECL.NPST 行く-INTRR 行く-HOR 行く-IMPR-ADVC 言う-PST-DECL
집에 {간다 / 가냐 / 가자 / 가라}고 했다.
「家に｛行く／行くのか／行こう／行け｝と言った.」

次に -(u)myense と -(u)nikka が引用連用節として主節のように用いられる例を見てみよう．便宜上，終止形に付き引用連用節を成すときは -myense, -nikka のように表記することとする．

-myense が引用連用節を成すときは主に (11) のように伝聞情報を聞き手に確認する場合に用いられる．

(11) halmeni=lang emma, cip=ey wa-ss-ta ka-sy-ess-ta-myense=yo?
おばあちゃん=COM お母さん 家=DAT 来る-PST-ADVC.COMPL 行く-HON-PST-DECL-ADVC=POL

할머니랑 엄마, 집에 왔다 가셨다면서요?

「おばあちゃんとお母さん，家に来てたらしいですね？」[phwulhawusu 5]

この引用連用節-myense は次の (12) のように，反語的に伝聞情報と異なる状況に対して聞き手を批難する場合にも用いられる．例文は登場人物のスハがトンギュに恋人のフリをするために練習しようと誘うが，言い出しっぺのスハがトンギュに触られるのも嫌で，全然練習できないという場面である．

(12) tongkyu: yensup ha-ca-myense=yo!
トンギュ [人名] 練習 する-HOR-ADVC=POL

swuha: nwuka mwe-lay=yo? ha-ca-kwu=yo, yensup!
スハ [人名] 誰:NOM 何-QUOT:言う.INTRR=POL する-HOR-QUOT=POL 練習

동규: 연습 하자면서요!
수하: 누가 뭐래요? 하자구요, 연습!

「トンギュ：練習しようって言いいましたよね！」
「スハ：誰がしないって言いました？ しましょうよ，練習！」[heyllo! aykissi 6]

引用連用節の -nikka は引用という機能よりも，話者が断定的に自分の意見を主張するときに用いられる (13).

(13) kule-nikka nay mal=i mac-ta-nikka! tomang#ka-nun key choyko-ci,
そうだ-ADVC 1:GEN 言葉=NOM 合う-QUOT-ADVC 逃亡#行く-ADNC.NPST こと:NOM 最高-ASS
sikhi-nta-ko ha-nun wuli=ka papo-la-nikka!
させる-QUOT-ADVC する-ADNC.NPST 1PL=NOM バカ-QUOT-ADVC
그러니까 내 말이 맞다니까! 도망가는 게 최고지, 시킨다고 하는 우리가 바보라니까!

「だからおれの言うことが正しいって！ 逃げるのが一番だよ，言われるがまま働くおれたちがバカだって！」[heyllo! aykissi 8]

次の表 1 にこれまで述べたことをまとめておこう．-(u)nikka は形態的特徴によって二つに区別されるため，右に番号を付けて示す．-(u)myense は過去接辞を含むことで意味が変わるため過去接辞のところは (+) で表記してある．

表 1 連用節の主節化における形態的特徴

	例文	過去接辞 -(a/e)ss	丁寧さ =yo	引用終止形
-(u)nikka$_1$	(9)	-	-	N/A
-(u)myense	(5)	(+)	-	N/A
-(u)nikka$_2$	(7)	+	+	N/A
-myense	(11, 12)	N/A	+	+
-nikka	(13)	N/A	+	+

4.2 モダリティ的意味から見た連用形の主節化

ここでは前節で考察した主節化した連用節の形態的特徴とモダリティ的意味について論じる．

まずは形態的基準によって，文らしさという観点から連用節の主節化を考察してみる．同時の意味を表す -(u)myense は過去接辞を付加すると逆接的な「〜クセニ」という意味になるため，この点でテンスに制約があると言える．理由を表す-(u)nikka$_2$ はテンスの観点からは制約がない．しかし，慣用的な用法の -(u)nikka$_1$ は過去接辞を含むことができず，テンスの制約がある．また， -(u)nikka$_1$ や -(u)myense は主節化用法において丁寧さを表す =yo を付けることが不自然であり，その点において丁寧さに制約がある．通常の文であればテンスによる対立を持ち，また丁寧に表現することもできる．よって，テンスや丁寧さを欠くということはそれだけ文としての性質を持たないと考えることができる．さらに，引用終止形を含む引用連用節を成す -myense と -nikka の場合，含まれている引用終止形は文相当の資格を持っているため，それだけ文に近いと解釈できる．このようにテンス，丁寧さに制約があるか，引用終止形を含みうるかで文らしさを規定するならば，-(u)nikka$_1$ < -(u)myense < -(u)nikka$_2$ < -myense, -nikka という順番で文らしさが上がるということである．

次に，連用節の主節化におけるモダリティ的意味を論じるうえでモダリティを次のように大きく三つに分類する：表出モダリティ，対事態モダリティ，対聞き手モダリティ．表出モダリティは仁田 (1991) の「表出」を援用するものである．仁田 (1991: 27) では「表出」を「話し手の意志や希望といった自らの心的な情意を，取り立てて他者への伝達を意図することなく発するといった発話・伝達態度を表したものである」と述べている．仁田 (1991) の表出という発話・伝達のモダリティを帯びた文には，意志，希望，願望を表す文が存在する．本研究での表出モダリティとは，「特に聞き手への伝達を意図することなく，話し手の感情的な側面が強く，ときに聞き手への批難を含むようなモダリティ的意味」である．また，対事態モダリティ，対聞き手モダリティは野間 (1997) を参考にする．事態に対する話し手の態度を表す対事態モダリティと，聞き手に対する態度を表し，聞き手に働きかける対聞き手モダリティを区別する． -(u)nikka$_1$ や -(u)myense は「黙って見ていれば（いい気になりやがって！）」「〜クセニ」と，話者の感情的な側面が強く，聞き手を批難するように用いられ，表出モダリティを表す．-(u)nikka$_2$ はただある出来事に対しての理由を表す場合に用いられるため，対事態モダリティを表すと考えられる．引用連用節の -myense は相手への確認，あるいは訴えを表したり，-nikka は断定的な主張を表すという意味でより聞き手への働きかけが強く，対聞き手モダリティを表しているとも言える．このような主節化における文らしさとモダリティ的意味との関係を示と下の表 2 のようになる．

表 2　連用節の主節化における形態的特徴とモダリティ的意味

	過去接辞 -(a/e)ss	丁寧さ =yo	引用終止形		
-(u)nikka$_1$	-	-	N/A	↑	表出モダリティ
-(u)myense	(+)	-	N/A		
-(u)nikka$_2$	+	+	N/A		対事態モダリティ
-myense	N/A	+	+		対聞き手モダリティ
-nikka	N/A	+	+	↓	

すでに述べたが，-(u)nikka$_1$ は慣用的な用法であり，生産的ではない．-(u)nikka は本来より文に近い特徴を持っているため，表出モダリティは表しにくいのだと考えることができる．本研究の提案によれば，このようにどのような特徴を持った節が，どのようなモダリティ的意味を表す傾向にあるのかも説明できるのである．

5　朝鮮語における連体節の主節化

アルタイ諸語の連体形（形動詞）が叙述機能も持つのに対し，朝鮮語の連体形は基本的には修飾機能のみを持つ．しかし，連用節よりは多くないものの連体節も主節として用いられることがある．伊藤 (2012) にも同様の指摘がある．

ここでもやはり主節として用いられる連体節を形態的特徴により分類することができ，引用終止形を含む場合と含まない場合に大別できる．まずは引用終止形を含まない場合を見てみよう．主節として現れる場合の意味は，主に罵倒語や卑語となる場合と感嘆のような意味を表す場合がある．または「ぼかし表現」として用いられる場合もある．聞き手を罵倒する場合は 빌어먹을! pil-e+mek-ul! (乞う-ADVC+ 食べる-ADNC.IRR)「くそったれ！」という決まり文句や，最近インターネットでもよく観察される 이 미친! i michi-n! (この 狂う-ADNC.PST)「頭おかしい！」などがある．大抵連体節のあとに 놈 nom「奴」を補うことができるような例である．他には，이런! ire-n! (このようだ-ADNC.NPST)「そんな！」のような例に連体節の主節化が見られる．

感嘆を表すような例は次の (14) のような例である．

(14)　tewuk　pwutulewu-n!
　　さらに 柔らかい-ADNC.NPST
　　더욱 부드러운!
　　「さらに柔らかく！」(ビーフジャーキーの商品パッケージより)

呉 (2015: 124-134) では主にインターネットでしばしば用いられる，朝鮮語の証拠性や認識的モダリティを表す ‘連体節 + kes kath-’ (ADNC + こと 同じだ-) が連体節の主節化として用いられた例を調査している．呉 (2015: 124-134) は次のような例を挙げ，これが「ぼかし表現」として機能していると述べている．例文のグロスは本発表の表記に改め，日本語訳も引用者が付けなおした．

(15)　coco+halin=ulo　po-ko　o-ni　wancen kongcca+yenghwa po-n　ke
　　早朝 + 割引=INST 見る-ADVC.SEQ 来る-ADVC.CSL 完全に 無料 + 映画　見る-ADNC.PST こと
　　kath-un!!!
　　同じ-ADNC.NPST
　　조조할인으로 보고 오니 완전 공짜영화 본 거 같은!!!^^
　　「早朝割引で見てきたら本当にタダ映画見たみたいな！！！ ^ ^ 」(呉 2015: 126)

また呉 (2015: 124-134) では (15) のような例は日本語の「みたいな」と形態的に類似していながらも，日本語の「みたいな」は引用マーカーとして機能することが多い点が，朝鮮語と異なる点だとも指摘している．

次に引用連体節が主節として用いられた例について見てみる．これは主にインターネットでの書かれた言葉によく見られるものである．次の (16) のように引用連体節 -ta-nun が用いられた例について，堀江・金 (2011: 207) は「このような *-tanun* の機能は，読み手にとっては直接知ることが難しい書き手自身の感想，考え，感情，経験などを，まるで他人事のように距離を置いて提示することによって，自分の感情，考え，評価などをより客観化して示しているものと考えられる」と述べている．(16) は堀・金 (2011: 204) の例にハングル表記を追加し，グロスを改め，引用者が日本語訳を付け直している．

(16) saylo nao-n maykcwu nemnem masiss-ta-nun...
新しく 出る-ADNC.PST ビール とてもとても おいしい-QUOT-ADNC.NPST
새로 나온 맥주 넘넘 맛있다는...
「新しく出たビール，めちゃくちゃおいしいっていう...」(堀江・金 2011: 204)

さらに，金 (2014) は次の命令の引用連体節 (17) や 勧誘の引用連体節は，聞き手への発話行為を軽減させている例だとし，これを間主観化 (intersubjectification) の例と見なしている．(17) は，例にハングル表記を追加し，グロスを改め，引用者が日本語訳を付け直している．

(17) cenhwa ha-myen mwucoken pat-ula-nun khkh
電話 する-ADVC.COND 無条件 受ける-QUOT.IMPR-ADNC.NPST 笑笑
전화 하면 무조건 받으라는 ㅋㅋ
「電話したら絶対に出ろっていう（笑)」(金 2014: 703)

また，最近では引用連体節が -nun で終わらず，文末に立つためか -nung のように表記されることがある．さらに，引用連体節に連用節の主節化のところでも見た丁寧の =yo が付く例も観察される．

(18) 2#cwu cen=ey ccik-un sacin=ul iceyya phothing ha-nta-nung=yo
2#週 前=DAT 撮る-ADNC.PST 写真=ACC やっと ポート する-QUOT.NPST-ADNC.NPST=POL
2 주 전에 찍은 사진을 이제야 포팅 한다능요~
「2 週間前に撮った写真をいまさら移すっていうですねぇ...」
(NAVER ブログ http://blog.naver.com/leftfood/220714548111, 最終閲覧日 2017 年 2 月 22 日)

ここまで連体節が主節として用いられる場合について見てきた．連用節の主節化の考察で明らかになった，節の形態的特徴とモダリティ的意味の関係は連体節の主節化にも適用することができる．つまり，引用終止形を含まず，文らしさに欠ける例では，罵倒語や卑語などが多く，連用節の主節化で見た表出モダリティにも似ている．さらに，引用終止形を含む (16) では対事態モダリティ，(17) では金 (2014) が間主観化の例と見ているように，対聞き手モダリティを表していると考えることもできる．

6 まとめと今後の課題

本発表ではまず，連用節の主節化の考察を通じて，節の文らしさと，それが表すモダリティ的意味との関係について明らかにした．そして，さらに連体節の主節化においてもこの関係が見られることについて述べた．

今後は他のタイプの従属節の主節化を含めた，包括的な記述が必要である．

略号一覧

ACC: 対格, ADM: 詠嘆, ADNC: 連体節, ADVC: 連用節, ADVLZ: 副詞化, ASS: 確言, COM: 共格, COMPL: 完了, COND: 条件, COP: コピュラ, CSL: 理由, DAT: 与位格, DECL: 叙述, GEN: 属格, HON: 尊敬, HOR: 勧誘, IMPR: 命令, IMPS: 不可能, INST: 具格, INTRR: 疑問, IRR: 非現実, NMLZ: 名詞化, NOM: 主格, NPST: 非過去, PL: 複数, POL: 丁寧, PST: 過去, PURP: 目的, QUOT: 引用形, SIM: 同時, SEQ: 継起, TOP: 主題, VOL: 意志, 1: 1 人称, 2: 2 人称, -: 接辞境界, =: 接語境界, #: 語境界

参照文献

朝鮮語で書かれた文献

Kim, Thayyep (2000) ‘kwuke congkyelemihwauy mwunpephwa yangsang’ [国語終結語尾の文法化様相], “語文研究” 33: 47-68, emwunyenkwuhakhoy [語文研究学会].

Cen, Yengcin (2002) “kwuke yenkyelemiuy congkyelemihwa yenkwu” [国語連結語尾の終結語尾化研究], kyengsengtay-hakkyo kyoyuktayhakwen seksahakwinonmwun [慶星大学校 教育大学院 修士学位論文].

日本語で書かれた文献

伊藤英人 (2012)「古代・前期中世朝鮮語における名詞化」『東京外国語大学論集』85: 77-104, 東京外国語大学.

風間伸次郎 (2012)「アルタイ型言語における準動詞と言いさしについて」『北方言語研究』2: 139-162, 北海道大学大学院文学研究科.

金廷珉 (2014)「韓国語の引用修飾節の主節化：日本語との対比を通じて」『日本語複文構文の研究』695-717, 東京：ひつじ書房.

黒島規史 (2010)「現代朝鮮語の接続形〈hamyense〉について――アスペクト (aspect), タクシス (taxis) の観点から――」東京外国語大学卒業論文（未公刊）.

黒島規史 (2014)「現代朝鮮語の「言いさし」における節の構造とモダリティの関係について」『日本言語学会第 148 回大会 予稿集』308-313, 日本言語学会.

黒島規史 (submitted)「現代朝鮮語の「従属節の主節化」における節の構造とモダリティ」.

白川博之 (2009)『「言いさし文」の研究』, 東京：くろしお出版.

仁田義雄 (1991)『日本語のモダリティと人称』, 東京：ひつじ書房.

野間秀樹 (1997)「朝鮮語の文の構造について」『日本語と外国語との対照研究 IV 日本語と朝鮮語 下巻 研究論文編』国立国語研究所, 東京：くろしお出版.

呉守鎭 (2015)『韓国語の文末名詞化構文・連体終止形に関する認知類型論的研究―日本語との対比を通じて―』名古屋大学博士論文.

呉守鎭・堀江薫・金廷珉 (2015)「韓国語の文字テロップにおける「連体終止形」―実例に基づく機能分類を目指して」“tongpwuka mwunhwa yenkwu” [東北亜文化研究] 44: 311-335, tongpwuk asia mwunhwa hakhoy [東北亜細亜文化学会].

堀江薫・金廷珉 (2011)「日韓語の文末表現に見る語用論的意味変化」『歴史語用論入門』193-207, 東京：大修館書店.

堀江薫・プラシャント・パルデシ (2009)『言語のタイポロジー――認知類型論のアプローチ――』, 東京：研究社.

英語で書かれた文献

Evans, Nicholas. (2007) Insubordination and its uses, Irina Nikolaeva (ed.) *Finiteness*, 366-431, Oxford: Oxford University Press.

Kim, Minju (2008) A corpus-based study of the grammaticalization of the Korean connectives mye and myense to sentence final particles, M. Endo Hudson, S. Jun, P. Sells, P. M. Clancy, S. Iwasaki, and S-O. Sohn (eds.) *Japanese/Korean Linguistics* 13: 335-345, Stanford: CSLI.

Koo, Hyun Jung, Rhee, Seongha. (2000) Grammaticalization of a Sentential End Marker from a Conditional Marker, 1-6, SECOL LXII.

Ohori, Toshio (1995) Remarks on suspended clauses: a contribution to Japanese phraseology, Masayoshi Shibatani and Sandra A. Thompson (eds.) *Essays in Semantics and Pragmatics*, 201-219, Amsterdam/Philadelphia: John Benjamins.

Rhee, Seongha (2002) From silence to grammar: grammaticalization of ellipsis in Korean, New Reflections on Grammaticalization II Conference, University of Amsterdam, The Netherlands.

Rhee, Seongha (2011) Context-induced reinterpretation and (inter)subjectification: the case of grammaticalization of sentence-final particles, *Language Sciences* 34(3): 284-300, Elsevier.

Sohn, Sung-Ock, S. (2003) On the emergence of Intersubjectivity: An analysis of the sentence-final nikka in Korean, W. McClure (ed.) *Japanese/Korean Linguistics* 12: 52-63, Stanford: CSLI.

用例収集に用いた資料

Mwunhwa kwankwangpwu・Kwuklipkwukewen [文化観光部・国立国語院] (2007) DVD-ROM “21seyki seycongkyeyhoyk choycong sengkwamwul” malmwungchi [「21 世紀世宗計画最終成果物」コーパス]

KBS ドラマ台本 (http://tv.kbs.co.kr/):

“kwuspai sollo”, “talcauy pom”, “lepingyu”, “mianhata, salanghanta”, “paykselkongcwu”, “pomuy walchu”, “weyting”, “phwulhawusu”, “heyllo! aykissi”

Pangsongtayponyellam [放送台本閲覧] (http://db.kocca.kr/db/broadcastdb/scriptList.do?menuNo=200462):

“sikhulis katun”